

140 ウィーン体制とその崩壊

	年代	ウィーン体制側の動き	年代	自由主義・国民主義の潮流
ウィーン体制の成立と革命の第1波	1814	ナポレオン、エルバ島に配流 (¹ ウィーン)会議開催(~15) ブルボン家の国王(² ルイ18世)即位(仏)		
	(³ 1815)	ナポレオンの「(⁴ 百日天下)」 ウィーン議定書調印 神聖同盟…露皇帝アレクサンドル1世の提唱 四国同盟…露・英・プロイセン・オーストリア ↓	1817	ドイツの学生組合(¹¹ ブルシェンシャフト)の改革要求
	1818	仏が加わり五国同盟	1820	カルボナリの蜂起(~21, 伊) スペイン立憲革命(~23)
	1819	カールスバートの決議	(¹² 1821)	(¹³ ギリシア)独立戦争(~29) • (¹⁴ ラテンアメリカ)独立運動(1800年代~20年代)
	1822	英、五国同盟脱退	(¹⁵ 1823)	(¹⁶ モンロー)教書(宣言)発表(米) 1825 (¹⁷ デカブリスト)〈十二月党员〉の乱(露)
体制の動揺と革命の第2波	(⁵ 1830)	フランス(⁶ 七月革命)による(⁷ ブルボン)朝の崩壊 原因：国王シャルル10世の専制政治 結果：オルレアン公ルイ=フィリップの即位	1830	ベルギー、(¹⁸ オランダ)から独立 ポーランド蜂起(対ロシア)
体制の崩壊と革命の第3波	(⁸ 1848)	フランス(⁹ 二月革命)による(¹⁰ オルレアン)朝の崩壊 原因：国王ルイ=フィリップの大資本家保護 結果：第二共和政の成立 メッテルニヒ、英に亡命 (¹ ウィーン)体制崩壊	1848	チャーティスト運動最高潮(英) ウィーン・ベルリンの(²¹ 三月革命) (²² フランクフルト)国民議会(~49, 独) ハンガリー民族運動 イタリア民族運動 サルデーニャ王の統一運動(伊) 1849 マッツィーニ、(²³ ローマ共和国)建国(伊)